

事業所名

発達支援センターコメット3

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

12月

21日

法人（事業所）理念		小集団療育を中心とした子供たちと職員の相互作用による適応していくことへの推進。					
支援方針		1) ABA等の理論的な視点からのアプローチ。2) 小集団中心とした集団力動の応用。3) 小集団の中での個別を重視した介入。4) 枠組みを設定し、小集団の利点を活かした職員から子供たちへのアプローチの実施。					
営業時間		8時	30分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日々の健康状況を把握し、生活リズムを整えることや健康に過ごせるよう活動を計画し提供致します。 ADLの自立(着替え、排泄、食事)は年齢や状況に応じ、保護者からの情報提供を得て自立に向けた取り組みを行います。 身体的活動を通して、生活に必要な基本的技能の向上に繋がっていきます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動、動作の改善および習得、筋力の維持向上を図ります。 楽しく活動ができるように屋内、屋外の活動を取り入れ、場面や季節に合わせた活動を行い経験を広がっていきます。 感覚統合等を用いた、5感などの感覚を十分活かせるよう必要に応じた遊びを工夫し支援します。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや活動の中でチャレンジという意欲や、自ら取り組むことを大切に、成功体験を積み重ねていけるよう支援します。 環境設定や理解しやすい声かけなどにより、気持ちや感情の調整ができるように支援を行います。 ABA等の理論に基づき、行動に変化を伴えるように介入し、アプローチをしていきます。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けて、小集団から大集団での関わり方を園や教育機関とも連携し支援していきます。 友だちや職員、周りの大人とのかかわりの中で感情を豊かに育て、意思を伝えられるように支援します。 言葉にとらわれず自分なりの表現(発声や身振り、仕草、表情、態度など)で人に伝えようとする意欲を大切にします。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる大人との2者間での関係性を作ることから始め、周囲の状況変化を捉え、人や物への興味・関心・伝えること重要性の理解へと繋がります。 遊びや活動の中で、ルールや順番の理解など、周りの状況に気づき行動につながるよう支援します。 遊びや活動を通して楽しい経験を重ねながら、社会性、対人関係の育ち、芽生えを支援します。 					
家族支援		外部講師を招いての講習やペアレントトレーニングの実施。 保護者との相談支援の強化及びレスパイトを含めた保護者への共感・受容。			移行支援		周囲の幼稚園や保育園との連絡・連携を実施。（就学に向けての調整や個人の特性に応じた対応の仕方の検討など）
地域支援・地域連携		保育園、こども園、幼稚園、小学校、保健センター、教育委員会、児童発達障支援センター等との連携及び情報共有。また、保育士等の実習生の受け入れての教育機関との連携。			職員の質の向上		定期的な研修の参加。 他の事業所との公開療育への参加と意見交換。 児童発達支援管理責任者の取得研修の斡旋及び研修費補助の規定。
主な行事等		社会体験や社会見学。季節行事の実施や遠足。					